

かほく市地域包括支援センター運営協議会 平成 27 年度第 1 回会議報告

招集年月日	平成 27 年 10 月 23 日 (金)
招集場所	かほく市役所 301 会議室
開会日時	平成 27 年 10 月 23 日 (金) 午後 1 時 30 分
閉会日時	同 午後 2 時 40 分
委員の定数	9 名
出席委員	北 勝利、大野洋治郎、渡邊利彦、塚田久恵、寺西衣姫、 本庄幸代、細井豊太郎、北川郁夫、東敦子
欠席委員	遠田由美子
事務局	長寿介護課長：寺嶋立弥、長寿介護課長補佐：竹田昌代 高齢者支援係：七野係長、高野主査、松本主事、 介護予防係：花係長、渡邊主査、網江主任保健師
議 事 の 経 過	
1.役員選出	
事務局	今回 6 名の委員の交代があり、任期は平成 30 年 3 月 31 日までとなっている。 事務局と委員各々の自己紹介を実施。遠田委員欠席の報告。 委員 9 名の出席により、本運営協議会要綱の第 7 条の規定により過半数の出席があることを確認し、会議の開始を告げる。 会長選出について、委員に問う。
委員	北先生にお願いしてはどうか。
委員全員	異議なし
事務局	副会長の選出については、会長より選出をお願いする。
会長	大野先生に依頼したい。
委員	了解する。
会長	会長就任挨拶
2.報告事項 (1) 平成 27 年度上半期地域包括支援センター運営状況について	
事務局	地域包括支援センター業務から下記事業について、ポイントを資料に基づき説明。 (ア)相談件数(困難事例・虐待事例含む) (イ)家族介護支援事業 (ウ)認知症施策 (エ)在宅医療・介護連携の推進 (オ)二次予防事業対象者把握事業 (カ)介護予防事業 (キ)地域介護予防支援事業 (ク)地域リハビリテーション活動支援事業 【質疑】
委員	アンケートを実施した年齢は。対象人数は減ったか。
事務局	71・74・77・80 歳に限定し、従来よりも対象を絞ったため、かなり対象人数は減った。
委員	高齢者虐待の表で、被虐待者の年齢別がでていますが、20 代者がいるのはおかしいのでは

事務局 委員 事務局	ないか。 被虐待者ではなく、虐待者の間違い。 昨年度と今年度で二次予防対象者の数はかなり変わっているか。
事務局	昨年度は二次予防対象者が 592 名で、参加は 74 名。高齢者数全体に対して 1 パーセントを切るので、費用対効果が低くなる。
委員	アンケートの回収率自体は高い。現在は、自主的グループへの参加勧奨にも重点を置き、切り替えていってるということになるかと思われる。
事務局	在宅医療の情報共有シートについて、情報量はどの程度のものか。本人同意はどうしているか。 高松病院のモニタリングシートをもとに、より活用しやすく検討したもの。特に認知面について、医師に普段の様子や問題行動が伝わるように、簡単にチェックできる形に検討したもの。 ツールについては、CD をやいてケアマネに配布した。 本人同意については、シートに本人同意欄あり。本人同意していなくても必要のある場合には情報提供している。
会長 委員	ほか、お助け便利手帳〔医療機関と事業所向け、住民向け〕を作成途中。 実際に連携シートを活用してみてもの感想はどうか。 先日連携シートを活用し、パーキンソンの方がスムーズに受診〔歯科医〕につながり、良かった。
会長	高齢者の権利擁護について、社会福祉協議会としては日々相談対応されていると思うが、どうか。
委員	主に金銭管理で支援しているが、年々支援している人数は増加している。
会長	介護予防の事業についてご意見はいかがか。
委員	介護予防講座については、個人に声かけすると参加してくれそうな印象を受けるが、実際に講座開催すると参加人数が年々減っている。認知症予防や交通安全など、老人クラブとしても継続して働きかけをしていきたい。よい周知方法があればと思うが。
会長	講座の案内は、各老人クラブで周知しているのか。
委員	講座参加者にはプレゼントも渡したり工夫はしているがむずかしい
委員	どんな会合でも、人集めは難しいと感じる。近所同士の仲間意識が少しでもよくなり、人と人のつながりが強化されていくとよいと思う。
2.報告事項 (2) かほく市の高齢者の現状と地域支援事業の今年度の重点事業について	
事務局	かほく市の高齢者の状況(高齢者数の年次推移、将来推計、世帯状況、要介護認定者数の状況等について資料に基づき説明し、今年度の重点事業について説明
委員	【質疑】 軽度の介護認定が出た人で、サービスを利用していない人はいるか。
事務局	住宅改修のみのために申請された方や、認定はしたがサービス未利用者もいる。
委員	生活支援コーディネーターの設置について予定はあるか。
事務局	今後どのような形で進めて行くかはまだ未定で、今後の検討課題である。
委員	大海地区の高齢者状況について先程説明があったが、なぜ高齢化率が高いのか。
事務局	若い世代が家から出て行くことが原因なのではないか。

委員 事務局	地域ケア会議を開催した手ごたえはあったか。 例として、認知症の方が地域で行方不明になることが数回あり、主治医や民生委員・区長等の関係者を入れて地域ケア会議を開催した。区長の積極的な呼びかけにより、今では地域で見守りをしてもらっている。行方不明になるとすぐに施設入所という話になりがちだが、地域で見守り体制ができよかった事例。
委員	先日、地域医療連携について県外研修にも参加した。今後は、医師会等と行政の2本柱で事業展開が求められているといった説明もあったが、かほく市では順調に進んでいると思われるので、特に意見はない。
3.協議事項 (1) 介護の「言の葉」の選考結果について	
事務局	応募総数 179 名、436 句から、最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名、佳作 3 名選考されたことを選考結果を紹介し、11 月 14 日の介護の日のイベント時に表彰予定であることを報告。
会長	とても良い、介護の言の葉が選考されたと思う。選ばれた言の葉は、今後いろいろな方面で活用されていく機会があることを確認する。
委員	全委員から了承される。
3.協議事項 (2) 介護予防支援事業委託事業所の承認について	
事務局	新規委託事業所の「すずみが丘介護センター」について資料で説明
委員	一同拍手で承認
4.その他	
事務局	11 月 14 日に開催を予定している「認知症にやさしいまちづくりシンポジウム」の紹介 次回の開催を平成 28 年 3 月を予定していることを報告し、閉会